

茶臼原通信

令和2年度
12月号
発行者：外山

コロナ禍こそ 心優しい子どもを育てたい

冬が近づき、コロナウイルス感染症が全国的に広がりを見せ、「第3波」が来ているのではないかという報道もあり、学校でも再度気を引き締めてその予防対策の徹底を図っているところです。

先日、東京にある国立成育医療研究センターが小学校から高校生約1000人を対象に行った調査について書かれている記事を読みました。それによると、32%が「もし自分や家族がコロナになったら秘密にしたい」、22%が「コロナになった人とは、コロナが治ってもあまり遊びたくない」と答えていました。これはコロナが身近で多く発生している東京の場合なので、宮崎の子ども達には当てはまらない記事かもしれませんが、皆さんはどう思われますか。

まず、「秘密にしたい」という思いにさせた原因は何なのでしょう。

コロナの感染が拡大するとともに、感染した人への偏見から考えられない差別が数多くおこりました。また、本来なら感謝されるべき医療従事者やその家族への中傷もありました。テレビなどで

こういう報道がされたとき、子ども達の心に「自分が攻撃の対象になりたくない」という思いが起こるのは当然です。こうした思いを抱かせている要因の一つは、大人の心無い言動かもしれません。

次に、「治っても遊びたくない」という思いはどこからくるのでしょうか。人は誰しも感染症に対しての恐怖や不安を抱いています。しかし、感染して幸い治療が終わり、やっと元気になったのに友達と遊んでもらえない、こんな悲しいことはありません。悪いのはコロナであって感染した人ではないのです。自分が当事者だったらと、相手の立場に立って考える優しさが必要だと思えます。

コロナへの恐怖は人の心さえも歪めてしまうことがあります。こんな時だからこそ、子ども達には「思いやり」をもった人に育ててほしいと願うのです。相手の痛みが分かる、きつい思いをしている人に寄り添ってあげられる優しい心をもった人に育てていきたいと思えます。

「ウィズコロナ」の時代、いつ誰が感染しても不思議ではありません。コロナに感染しても、感染した人が身近にいても、心穏やかに過ごせる社会や学校にしていくために、私たち大人が新型コロナウイルス感染症を理解し、正しい判断と行動ができるように学んでいくことが、今求められていると思えます。

バースデイ給食 ついに追いつきました!



【8月生まれ】

今年から始めた「バースデイ給食」がコロナによる中断から再開し、サポートをかけて、この11月でやっと追いつきました。

ささやかではありますが、同じ月に生まれたもの同士が集い、自分の誕生日を祝うことは、生まれたことに、そして命に感謝することにつながり、素晴らしいことです。

ちなみに私は毎回いますが、11月は本当の誕生日の一人として参加させてもらうことができました!



【9月生まれ】



【10月生まれ】



【11月生まれ】

12月行事予定表

日	曜	おもな行事等
1	火	5年県学力調査、ベネッセ(国算)
2	水	ベネッセ(社理)
3	木	6年修学旅行
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	読み聞かせ56年 3年お茶学習
8	火	ALT 3~6年
9	水	全校音楽 家庭教育学級研修視察
10	木	6年JA西都出前授業 バースデイ給食
11	金	3年手もみ茶体験学習 PTA合同部会
12	土	
13	日	
14	月	下学年図書貸出
15	火	ALT 1~6年 上学年図書貸出
16	水	すくすくタイム
17	木	参観日(凧作り)学級懇談
18	金	給食着持ち帰り
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	終業式 大掃除 全校下校 14:30~
24	木	冬季休業(~1/5)
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	仕事納め
29	火	
30	水	
31	木	



みんなで学び、楽しむ茶小!



茶小は小さい学校です。しかし小規模だからこそできることがたくさんあります。ある時は全校で、ある時は他の学年と一緒に学び楽しんでいきます。全校国語

では新聞記事の写真に吹き出しを書き、想像力や表現力を養いました。全校音楽では、卒業式に向けて発声の仕方、音階について学びました。先日は収穫したさつまいもを使って1・2年生が料理を作り秋の恵みを味わいました。

茶小で育つこと、茶小で働くことの喜びを感じる毎日です。



ありがとうございました!

朽ちて外されていた運動場のベンチを、上米良尚史さん、上米良勝彦さん、中村公洋さんが、板の準備をして、新しく作っていただきました。

今後は子ども達に色を塗らせて仕上げます。



